

# フードスペシャリストが実践する新しい食ビジネス ー野生シカとの共生による新しいジビエビジネスのモデルー

柴田学園大学フードマネジメント学科 2年

○前山達弥、岡崎日暖、澤百葉、須々田歩花、立石桃々、  
對馬凜、寺田陽斗、中田羽南、三上智愛

## 1 目的

近年、野生の鳥獣による農作物への被害が深刻になっています。令和4年度の統計では、野生鳥獣による全国の農作物被害は約156億円（対前年度約+0.5億円）に及んでいます。このうちシカによる被害が最も多く、被害金額は65億円（42.8%、対前年度約+4.0億円）と報告されています<sup>1)</sup>。都道府県別では、青森県の隣県である岩手県では大きな被害に見舞われており、既に北上して、特に青森県の南部地方では被害が年々増加しています<sup>2)</sup>。

私たちは、増加する野生のシカを捕獲して農作物への被害を減らすとともに、安全でおいしいシカ料理の加工品を全国で販売するビジネスモデルを提案し、専門家とのディスカッションを通じて実現可能性を調査しました。

## 2 取組内容

### (1) グループ実習の発表とレポートの作成

柴田学園大学フードマネジメント学科の「フードスペシャリスト論」（2024年前期）のグループ実習で、野生鳥獣による被害の実態や、捕獲したシカをジビエ料理や工芸品などとして利用している先行事例等を調査した結果を発表し、レポートにまとめました。

### (2) 「あおもりジビエマルシェ」への参加と専門家とのディスカッション

令和6年9月15日に、青森県弘前市において狩猟文化やジビエをテーマにしたイベント「あおもりジビエマルシェ」が開催されました。後日、イベントを主催した「ジビエベースあおもり（青森県弘前市）」<sup>3)</sup>の代表者で狩猟文化やジビエ料理に詳しい盛英吾氏とディスカッションを行いました。

## 3 結果

### (1) グループ実習の発表とレポートの作成

発表とレポートのテーマは「養鹿場でシカの加工品を全国へ」としました。概要は「農作物に被害を与えるおそれのある野生のシカを捕獲して、養鹿場で衛生面に気を付けながらシカを飼育し、食品衛生法に基づいて食肉処理業の営業許可を取得して、寄生虫やウイルスの危険性を解決しながら、火を通した安全でおいしいシカ料理を加工品として全国で販売する」というものです。シカ肉は高たんぱく低脂質なため、他の畜肉に比べて健康なライフスタイルに貢献できることと、骨や角などは漢方薬として、皮は工芸品として利用することを提案しました。また、レポートでは、雇用創出や観光資源の提供、地域経済の活性化、環境の保護、生態系の維持に加え、マタギの文化の継承と農作物被害を減らすという波及効果が期待できることを述べました。

### (2) 専門家とのディスカッション

上記レポートをもとに、ジビエベースあおもりの盛英吾代表とディスカッションを行いました。盛代表からのコメントは以下のとおりでした。

番号	論点	コメント
1	養鹿場の経営	飼育により低リスクな鹿肉を流通させるという目的であれば養鹿も悪くない 広い土地と飼育のための投資と経費が必要となり実現は難しい 管理場から逃げ出した場合は鹿による被害を助長しかねない 鹿の飼育では自然下のニホンジカの個体数が減らないため被害の抑止にならない
2	処理施設	青森県には、捕獲した野生シカを解体するための処理施設がなく、近県まで運搬し委託する必要がある 長時間の運搬となるため推奨できない 農水省のジビエガイドラインでは止め刺しから1時間以内に処理施設への搬入を推奨している
3	シカ肉の加工	近県で処理したシカ肉等を加工するために、さらに運搬と加工のための費用がかかり赤字確定 他道県が個体数の多さやビジネスモデルが確立しているため価格競争をすると確実に不利
4	推奨するビジネスモデル	ジビエマルシェ運営団体である「ジビエベースあおもり」は「鳥獣被害対策」、「ジビエ」、「ハンター増加育成」、「エコツーリズム」の4要素を理念として掲げている これらの要素をバランス良く行うのが重要
5	里山との共生	青森県に限っては、ニホンジカとイノシシが絶滅した状態で生態系と農業がバランスが取れているため、完全排除が目標となっている ニホンジカとイノシシがいない状況での里山と鳥獣の保全管理が重要

## 4 考察・まとめ

私たちは、講義やグループ実習において「養鹿場でシカの加工品を全国へ」と題して発表し、レポートにまとめました。その後、地域で狩猟文化やジビエ料理の専門家である盛代表とのディスカッションで、ビジネスモデルを修正することにしました。今回の活動を通して、講義室での学修や文献調査に加えて、外部の専門家との出会いとディスカッションが大切であることを学びました。また、盛代表からは、野生シカの被害は早晚青森県に影響を及ぼして、世界自然遺産の白神山地をはじめとする地域の緑豊かな自然環境が失われる可能性があることに言及して、次世代を担う私たちが今から問題意識を持つことに意義があるという評価をいただきました。

## 5 参考文献

- 1) 全国の野生鳥獣による農作物被害状況について（令和4年度）、農林水産省、  
[https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/hogai\\_zyoukyou/attach/pdf/index-27.pdf](https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/hogai_zyoukyou/attach/pdf/index-27.pdf)
- 2) 野生鳥獣による都道府県別農作物被害状況（令和4年度）、農林水産省、  
[https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/hogai\\_zyoukyou/attach/pdf/index-30.pdf](https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/hogai_zyoukyou/attach/pdf/index-30.pdf)
- 3) ジビエベースあおもり(GBA)のInstagram、[https://www.instagram.com/gibier\\_base\\_aomori/](https://www.instagram.com/gibier_base_aomori/)